

2010年度 惑星科学フロンティアセミナー 参加報告

佐々木 貴教¹

9月5-8日に北海道小樽市のマリンヒルホテル小樽にて、「惑星科学フロンティアセミナー」が行われました。今年で5回目となりますが、今回も総勢26名(学生13名)という多くの方々が参加し、無事終了することができました。フロンティアセミナー実行委員会のメンバーであり、参加者であった執筆者から本セミナーの簡単な報告をいたします。

今回は国立天文台の田村元秀氏を招待して「系外惑星の観測」というテーマで、系外惑星観測の手法から最新の研究成果、および今後の観測計画について、丸二日間集中講義形式で講演をしていただきました(図1)。講演内容の章立ては以下のようなものでした。

1. 系外惑星のイントロと歴史
2. 系外惑星の性質と成功している手法の紹介
3. ドップラー法・アストロメトリ法・トランジット法・重力レンズ法
4. 広義の直接観測・補償光学・コロナグラフ
5. 地上観測・スペース観測
6. 将来計画

初日は、系外惑星観測の歴史や一般的な天文観測のイントロからはじまり、系外惑星の性質を様々な相関をもとに示したり、観測手法の詳しい比較紹介をしたりしていただきました。二日目は、系外惑星の直接観測についての話を中心に、観測の現状から将来計画まで、大きな視点から多岐にわたる話題を提供していただきました。観測に関して初心者があることを十分に考慮された構成で、基本的なことから丁寧に講義していただいたので、参加者全員がしっかりと理解を深め



図1: 講演をしていただいた田村元秀氏

ることができたと思います。また講義中は常に質問が飛び交い、双方向のインタラクティブな講義となりました。田村氏によると、系外惑星観測についての包括的な教科書は(洋書を含め)まだないということなので、本セミナーの参加者は現段階で最も詳しい包括的な知識を二日間で得ることができたことになります。最新の話題を短期集中的に学べるのも、フロンティアセミナーの魅力のひとつです。

なお、本セミナーの講義の様子は、mosirプロジェクト¹のメンバーにより全て撮影記録されています。講義の動画およびスライドはmosirプロジェクトのサイト²で誰でも視聴することが可能ですので、興味の

1. 東京工業大学 大学院理工学研究科
takanori@geo.titech.ac.jp

1. <https://www.cps-jp.org/~mosir/pub/index.html>
2. <https://www.cps-jp.org/~mosir/pub/list.html>

ある方はぜひご覧ください。

夏の北海道という快適な環境と興味深い講義によって、今年のフロンティアセミナーも大盛況の中、無事に終了しました（図2：集合写真）。長時間の講義をしてくださった田村元秀氏、フロンティアセミナー代表世話人のはしもとじょーじ氏、および北海道大学・神戸大学の学生スタッフのみなさまに感謝いたします。今年のフロンティアセミナーは、日本惑星科学会と神

戸大学惑星科学研究センター（CPS）との共催により実現することができました。惑星科学会からの補助により、一部の学生への旅費の援助が可能となりました。大変ありがとうございました。

来年度以降も、惑星科学フロンティアセミナーはフロンティアセミナー実行委員のもと開催される予定です。今回参加された方も残念ながらできなかった方も、みなさまの次回以降の参加をお待ちしております。



図2：全体集合写真